

① 国指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
特別名勝	富 士 山	S27. 11. 22	富士山須走口旧馬返しより上方の山体が該当
史跡	富 士 山	H23. 2. 7	富士浅間神社及び須走口五合目以上の登山道が該当

② 国登録文化財

種 別	名 称	登録年月日	所 在 地 ・ 特 徴
建造物	豊門会館(和室)	H17. 11. 10	藤曲144-8 明治42年建築した和田豊治宅を大正14年に現在地へ移築。木造2階建て、瓦葺、入母屋破風。
建造物	豊門会館(洋館)	H17. 11. 10	和室と隣接し、和館の南側に位置する。平屋建て、スレート葺き、寄棟造。
建造物	豊門公園西洋館	H17. 11. 10	藤曲142-7 昭和初期に建設。旧豊門青年学校。木造2階建て、スレート葺き、寄棟造。
建造物	豊門公園正門	H17. 11. 10	藤曲144-8 大正14年建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げの門柱。
建造物	豊門公園噴水泉	H17. 11. 10	藤曲142-7 昭和初期に建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げで石積み風に目地を入れている。
建造物	豊門公園和田君遺惠碑	H17. 11. 10	藤曲144-8 大正14年建設。高さ3mの花崗岩製。朝倉文夫による独特な意匠。
建造物	森 村 橋	H17. 11. 10	小山133-6 明治39年建設。鋼製プラットトラス方式。設計は秋元繁松、製作は東京石川島造船所。
建造物	松村家住宅主屋	H20. 7. 8	須走31 昭和12年登記。木造平屋建て、面積123㎡。屋根は切妻造で土間と食堂、和室が接続。建築は清水組。

③ 県指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
彫刻	宝鏡寺の木造地藏菩薩坐像	S60. 3. 19	竹之下1462 像高77.1m・檜材・寄木造・内剝・漆箱・白毫に水晶玉・玉眼嵌入・南北朝期
天然記念物	富士浅間神社のハルニレ	S38. 2. 19	須走126 幹廻4m・樹高24.5m
天然記念物	大胡田天神社のイチョウ	S41. 3. 22	大胡田643 幹廻7.6m・樹高20m
天然記念物	柳島八幡神社の二本杉	S42. 10. 11	柳島168 幹廻5.2m・樹高31m・幹廻5.5m・樹高36m



国登録有形文化財

「森村橋」

④ 町指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
建造物	甘露寺宝篋印塔	S48. 10. 25	菅沼683 応永7年(1400年)徳勝和尚が後生善処のために造立。
建造物	嘉慶銘宝篋印塔	S63. 12. 16	菅沼2112-2 梅林内に位置する。
建造物	栗の木沢の唯念名号碑	H3. 5. 1	竹之下3676-20 高さ3.8m・横幅1.5m・厚さ0.8m
建造物	栗の木沢の題目碑	H4. 6. 1	竹之下3677-17 高さ3.56m・横幅1.24m 厚さ:中0.42m下0.6m
建造物	富士山東口本宮 富士浅間神社社殿	H18. 8. 24	須走126 享保3年(1718年)に再建された社殿が現存。本殿、幣殿、拝殿が一体化しているという特徴を有す。
史跡	乗光寺大森六代之墓	S48. 10. 25	生土234-1 大森頼直が正保元年(1644年)に墓石を移転。
無形民俗 文化財	竹之下太鼓	S59. 12. 21	竹之下区 富士登山する道者の無事を祈ったことに端を発する。
天然記念物	湯船八幡神社の夫婦スギ	S58. 5. 1	湯船371 大:根廻7.5m・目通5.65m・樹高35m 小:根廻5.6m・目通4.26m・樹高30m・樹齢約250年
天然記念物	上野神明社のアカガシ	S58. 5. 1	上野178 根廻6.1m・目通5.1m・樹高20m・樹齢約300年
天然記念物	富士浅間神社の エゾヤマザクラ	S58. 5. 1	須走126 根廻2.08m・目通1.75m・樹高8m・樹齢約110年
天然記念物	富士浅間神社の根上りモミ	H3. 5. 1	須走126 根廻4.6m・目通3.1m・樹高27m・樹齢約300年
天然記念物	棚頭産神社のスギ	S63. 12. 16	棚頭714 甲:根廻6.45m・目通5.6m・樹高23m 乙:根廻6.4m・目通5.2m・樹高23m・樹齢約400年
天然記念物	用沢八幡宮の三本スギ	S63. 12. 16	用沢517 根廻10.3m・目通:甲3.4m・乙5m・丙3.5m 樹高約30m・樹齢約300年
彫刻	坂下区十王堂地蔵菩薩坐像	H21. 12. 16	菅沼707-1 桧・寄木造・漆箔 肉身金泥塗り、玉眼 像高:34.4cm 室町時代後期～江戸時代初期
絵画	坂下区十王堂十王図	H21. 12. 16	菅沼707-1 紙本著色・紙継ぎなし 表装後補 縦:111.4～112.0cm 横:37.0～37.5cm 文化元年(1804年) 10幅全て、同一人物による作品
書跡・典籍 古文書	坂下区十王堂 木食観正宝号軸	H21. 12. 16	菅沼707-1 絹本墨書・絹継ぎなし 布表装 作者:木食観正 縦:67.9cm 横:33.8cm 作者が小山町に滞在した文政7年(1824年)頃
彫刻	坂下区十王堂石仏	H21. 12. 16	菅沼707-1 17体 丸彫像・一部朱彩色・金泥彩色 像高:25.8～41.8cm 延宝8年(1680年)を遡る江戸時代初期
建造物	藤曲浅間神社の 二宮金次郎墓碑	H27. 9. 25	藤曲168 1基 高さ:171.2cm、幅:98.1cm、 奥行:66.5cm 年代:安政4年(1857)11月 墓石の形状は、二宮の「一円融合」の思想を表す



小山町指定文化財

「藤曲浅間神社の二宮金次郎墓碑」

小山町埋蔵文化財等地名表

	遺跡名	時代	種別	所在地	地目	遺構	遺物	文献
1	上野奥の沢遺跡	縄文中期	散布地	上野北山	林・沢		縄文土器	
2	上野堀之内	中世	城館	上野字堀之内	境内	空堀・土塁		
3	湯船遺跡	縄文	散布地	湯船	工場		縄文土器	
4	湯船城	中世	城館	湯船字附野	山林			
5	柳島遺跡	縄文中期	散布地	柳島堀	公民館		縄文土器	
6	湯船堀之内	中世	城館	湯船字下耕地	水田			
7	藤曲屋敷	中世	城館	藤曲字宮原	宅地			
8	生土城	中世	城館	生土字城山	山林	曲輪・空堀・井戸跡		静岡県の中世城館跡
9	御園平遺跡	縄文前～後期	散布地	生土御園平	畑	列石	縄文土器	
10	御園遺跡	縄文中期	散布地	生土御園	宅地		縄文土器・石斧・石棒	静岡県史第1巻
11	用沢堀之内	中世	城館	用沢字坂本	水田			
12	一色城	中世	城館	一色島土	水田・宅地			
13	沼子遺跡	縄文	散布地	柳島字沼子	水田・畑			確認調査報告書
14	中の丸遺跡	古墳・古代	散布地	上古城中の丸	境内		土師器・須恵器	静岡県郷土研究1
15	一色遺跡	縄文	散布地	一色上大畑	水田		縄文土器	
16	岩田館	中世	城館	菅沼字菅沼	宅地			
17	打越館	中世	城館	吉久保字打越	宅地			
18	吉久保遺跡	縄文中期	散布地	吉久保	水田		縄文土器	
19	下古城(古城)	中世	城館	下古城字永塚	水田	土塁		
20	上矢台遺跡	縄文後期	散布地	竹之下上矢台	林・原野		縄文土器	静岡県史
21	竹之下堀之内	中世	城館	竹之下字堀之内	宅地			
22	竹之下屋敷(城ヶ腰)	中世	城館	竹之下字城ヶ腰	宅地	井戸跡		
23	高畑城(高畑山)	中世	城館	竹之下	山林			
24	大曲遺跡	古墳～平安	散布地	竹之下大野原	宅地			
25	ゼンコーヅ遺跡	古代	散布地	竹之下善光寺	山林		土器	
26	新見堂遺跡	縄文晩期	散布地	竹之下新見堂	山林		縄文土器・磨製石斧	
27	横山遺跡	古墳後期～中世	集落	竹之下上横山	高校	住居跡・柵列	土師器・須恵器	横山遺跡概報
28	上横山遺跡	奈良・平安	散布地・集落	竹之下上横山	工場		土師器・須恵器・鉄製品	上横山遺跡報告書
29	桑木沢田遺跡	平安	集落	桑木	宅地	住居跡	陶磁器・構築礫	沢田遺跡確認調査報告書
30	古瀧遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
31	クラモンザ遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
32	新柴堀之内	中世	城館	新柴字堀之内	宅地	井戸跡		
33	ワデ遺跡	縄文後期	散布地	桑木ワデ	田・宅地		縄文土器	
34	向桑木遺跡	縄文中期	散布地	桑木一ノ沢	山林		縄文土器	
35	池の沢遺跡	弥生	散布地	桑木池の沢			弥生土器	
36	八重山屋敷	中世	城館	小山字八重山	宅地			
37	足柄城	中世	城館	竹之下峠	山林	曲輪・空堀・井戸跡・土塁		調査報告書
38	足柄峠Ⅰ遺跡	縄文中期・後期	散布地	竹之下峠	山林		縄文土器	
39	足柄峠Ⅱ遺跡	古墳・古代	散布地	竹之下峠	山林		土師器・須恵器	
40	尾立城	中世	城館	生土	山林	堅土塁		調査報告書
41	南ノ原遺跡	奈良	集落	桑木字上の原	工場	住居跡・土坑	土師器・須恵器・鉄製品	調査報告書
42	富士山	特別名勝・史跡						